

週間漁海況情報—第25号

平成22年07月05日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

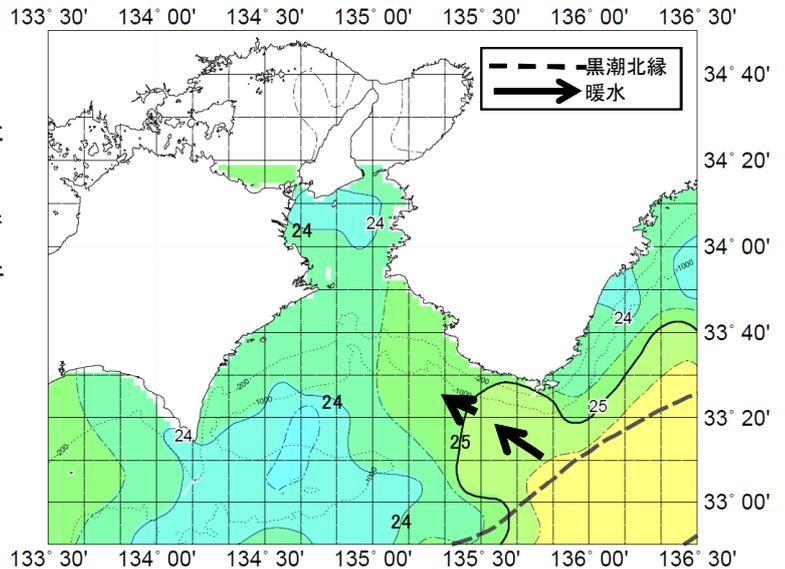
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.7.05）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖でやや離岸している。室戸岬以西では、都井岬沖および足摺岬で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、24～25℃台である。

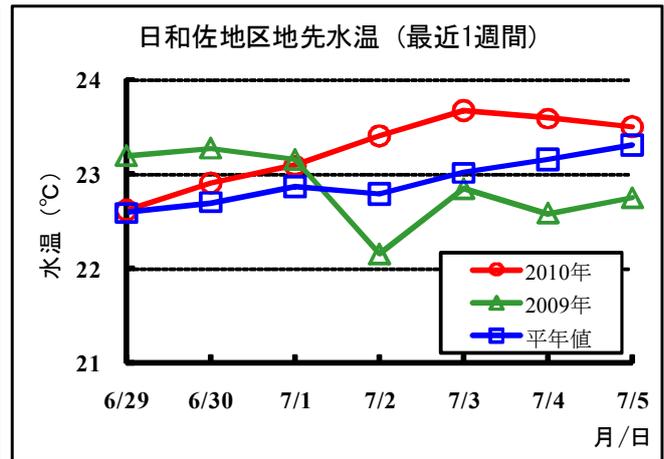
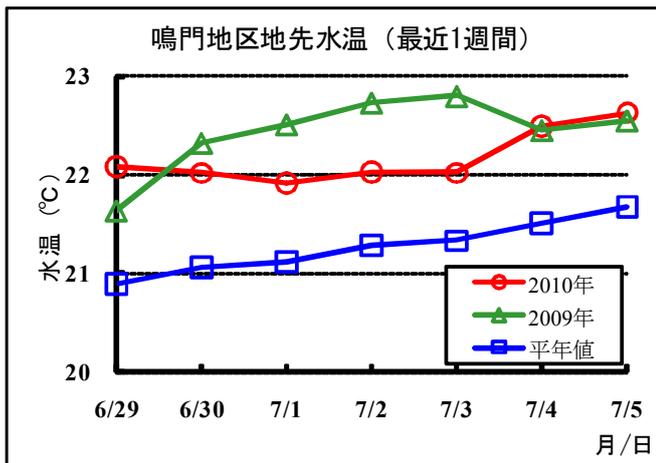
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が22～23℃台、紀伊水道が23～24℃台、海部沿岸も23～24℃台である。



室戸岬沖合では冷水塊が東進している。紀伊水道外域の和歌山県沿岸から、暖水が冷水塊の周囲に沿ってゆるやかに流入している。

一方、海部沿岸では、紀伊水道から南下した24℃台の内海系水に広く覆われている。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の21.9～22.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.6～23.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の22.5～24.1℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大・小主体にゴマサバが1.4トン(1日1隻当たり15kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.9トン(同12kg)、小小主体にカマス類が0.6トン(同8kg)、小・小小主体にマアジが0.5トン(同7kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にイサキが1.9トン(同237kg)、イワシ類が3.0トン(同375kg)、特大主体にカツオが0.4トン(同44kg)、小主体にゴマサバが0.8トン(同100kg)、小主体にマアジが0.9トン(同117kg)、大・小主体にマサバが0.2トン(同25kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にマアジが0.4トン(同6kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.3トン(同9kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが93.6トン(同731kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 06月28日～07月04日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	ゴマサバ	98	1,425	15	大・小主体
小型定置網		ウルメイワシ	75	885	12	
		カマス類	75	573	8	小小主体
		マアジ	75	545	7	小・小小主体
		イサキ	8	1,894	237	大主体
大型定置網		イワシ類	8	3,000	375	
		カツオ	8	355	44	特大主体
		ゴマサバ	8	799	100	小主体
		マアジ	8	934	117	小主体
		マサバ	8	203	25	大・小主体
釣り	紀伊水道	マアジ	58	352	6	大主体
		タチウオ	32	302	9	特大主体
パッチ網		シラス	128	93,600	731	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」～「やや高め」の22℃台～23℃台、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の23～24℃台前半で推移する見込み。